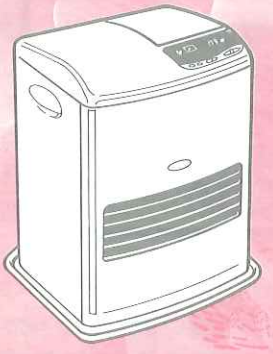
ダイニチ



ブルーヒーター

取扱説明書

FW-2501D

○このたびは、ブルーヒーターをお買い上げいただき、ありがとうございます。
○お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
○取扱説明書はご使用になる人がいつでも取り出せる場所に、大切に保管してください。
○同梱の「ご愛用者アンケートはがき」は必ずご投函ください。

正しく使って 上手に節約

(強制通気形開放式石油ストーブ)

目 次

ご使用前

⚠安全のために必ずお守りください…… 1~4
各部のなまえ…… 5~6
使用する場所…… 7
使用前の準備…… 8~12

使用方法

運転開始…… 13
運転停止…… 14
室温の調節…… 15~17
　快温おまかせ運転
　通常運転
運転の種類の切り換え…… 17
チャイルドロックの使い方…… 18
3時間延長ボタンの使い方(消し忘れ消火装置)… 19
現在時刻の合わせ方…… 20
タイマー運転のしかた…… 21~22

点検・その他

点検・手入れのしかた…… 23~24
保管のしかた(長期間使用しない場合)… 25
異常のお知らせと処置方法…… 26~28
アフターサービス…… 29
部品交換について…… 29
定期点検のおすすめ…… 30
仕様…… 30
別売部品のご注文について…… 裏表紙

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書にある項目は、危険の程度によって次の３段階に区分しています。

⚠危険	取扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う危険、また火災・やけどの危険が高いと考えられる場合
⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性、また火災・やけどの可能性が考えられる場合
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が考えられる場合、また物的損害のみの発生が考えられる場合

本文中のマークは、次の意味を表わします。
（マークの中や周辺に具体的な内容が描かれています）

絶対に行ってはいけないことを表わすマークです。

必ず行っていただきたいことを表わすマークです。

⚠危険

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

ガソリン厳禁

⚠警告

スプレー缶厳禁

スプレー缶を温風の当たるところに放置しないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。

可燃性ガス使用厳禁

ファンヒーターを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの（ベンジン、シンナー）、スプレーを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

換気必要

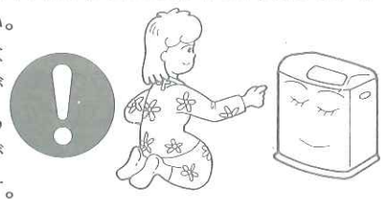
換気せずに使用し続けないでください。
酸素が不足すると不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。
使用中は必ず１時間に１～２回（１～２分）換気して、新鮮な空気を補給してください。
換気が充分に行えない場所では使用しないでください。

温風吹出口をふさがないで

衣類、紙などで温風吹出口、燃焼・温風空気取入口をふさがないでください。
衣類、紙などでふさぐと、異常燃焼や火災の原因になります。

寝るとき消火

寝るときや外出するときは、必ず消火してください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。



⚠注意

1 設置

カーテン、可燃物近接禁止

カーテンや燃えやすいもののそばなどでは使用しないでください。
火災が発生するおそれがあります。

人があたたまる目的以外使用禁止

衣類の乾燥には使用しないでください。
火災のおそれがあります。
また、動・植物の育成・栽培や、人のいない場所では使用しないでください。予想しない事故が発生するおそれがあります。

安全のために必ずお守りください

⚠注意

2 使用時

ファンフィルターは必ず使用

ファンフィルターを取り外した状態で使用しないでください。
内部にほこりがたまり、異常燃焼の原因になります。

移動に注意

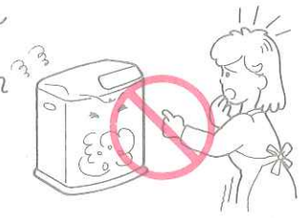
運転中にファンヒーターを持ち運ばないでください。持ち運ぶときは火を消してカートリッジタンクを取り出し、傾けないように静かに運んでください。
灯油がこぼれると火災の原因になります。

スプレー・化学薬品厳禁

理・美容院、はんだ付作業所、メッキ・塗装工場、クリーニング店などでは使用しないでください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

異常時、使用禁止

におい、すすの発生、炎の色など異常を感じたときは使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。13



電源コード、プラグの破損に注意

電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。
感電、ショート、発火の原因になります。

小さいお子様に特にご注意いただきたいこと

高温部に注意

燃焼中や消火直後は温風吹出口が高温になっています。手など触れないよう注意してください。やけどのおそれがあります。

温風に注意

温風に直接長時間当たらないでください。低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。

本体内に手や物を入れないで

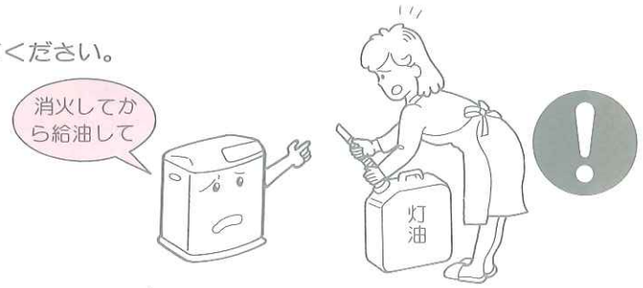
温風吹出口や燃焼・温風空気取入口に手や物を入れないでください。けがややけどを負ったり、入れた物が火災の原因になります。

⚠注意

3 給油時

給油時消火

給油は、必ず消火してから行ってください。
火災のおそれがあります。



油漏れ確認

給油口口金を下にして油漏れがないことを確かめてください。口金を斜めに締めたりすると簡単に口金が外れて、火災のおそれがあります。

居室内給油禁止

給油は必ず火の気のないところで行ってください。火災のおそれがあります。

4 点検・手入れ・保管

ほこりの除去

ファンフィルターは週に１回以上必ず掃除してください。
ごみ、ほこりなどでフィルターがつまると、異常燃焼のおそれがあります。

保管時の注意

長期間使用しないとき、または保管するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、灯油を抜いてください。
傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。再使用時、火災のおそれがあります。

分解修理の禁止

故障・破損したら使用しないでください。
お客様個人で行う修理や改造は危険です。

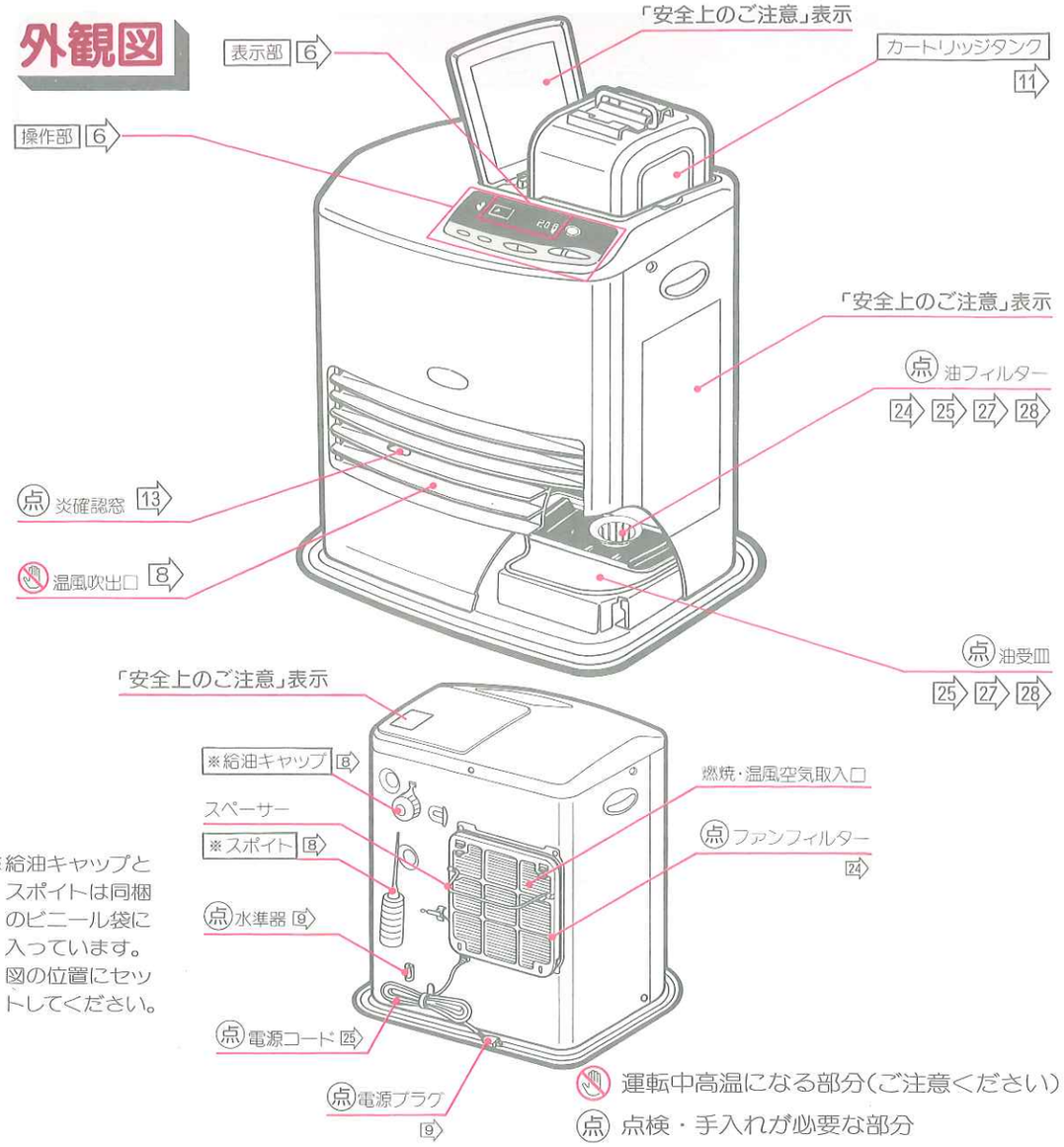
電源コードを引っぱらないで

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜いてください。
感電、ショート、発火のおそれがあります。

ご使用前 安全のために必ずお守りください

各部のなまえ

外観図



※給油キャップとスポイトは同梱のビニール袋に入っています。図の位置にセットしてください。

運転中高温になる部分(ご注意ください)
点 点検・手入れが必要な部分
ふだん使用する部分

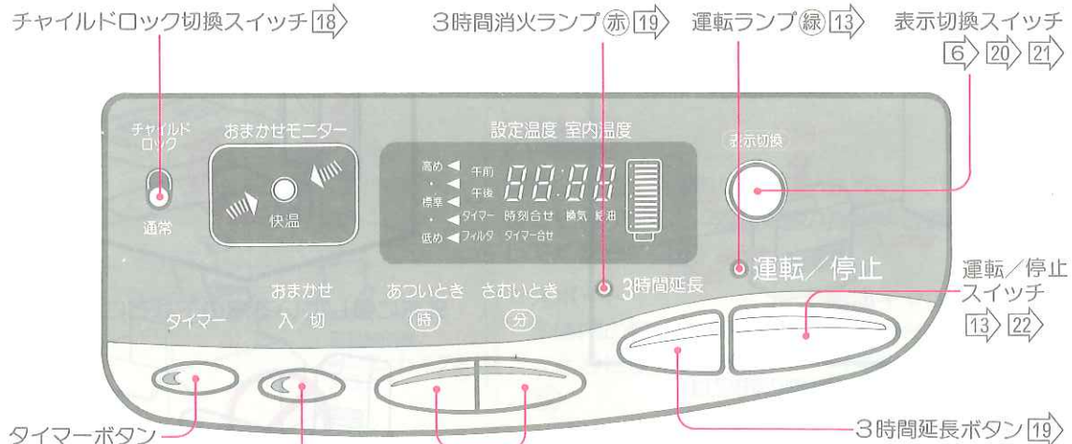
お守りください

スペーサーは取り外さないでください。
スペーサーは、カーテンなどで燃焼・温風空気取入口がふさがれるのを防ぐために必要です。

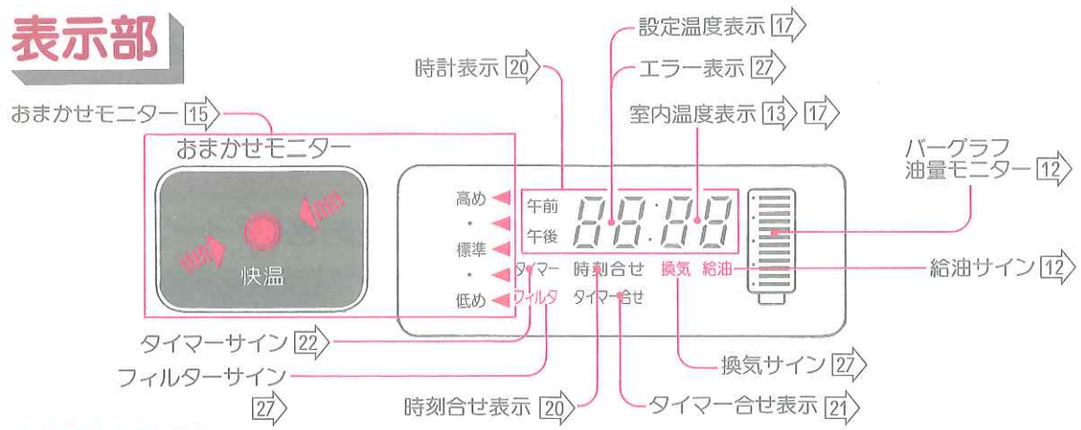
このマークの中の数字は詳しい説明のあるページです。

操作部

※図は全部表示した状態です。使用上、全部表示されることはありません。

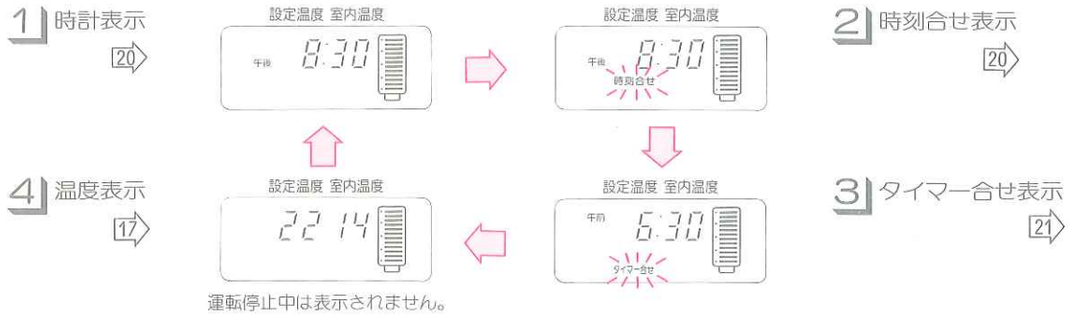


表示部



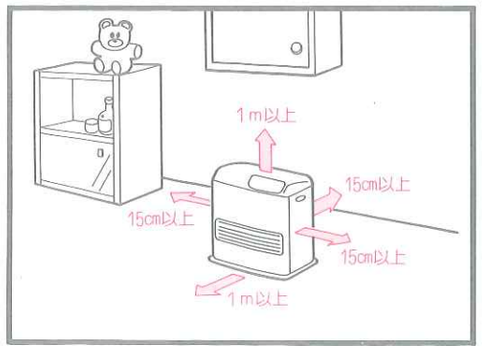
表示部の説明

表示部は表示切換スイッチを１回押すごとに、1～4の順で切り換わります。



使用する場所

安全に使用するために

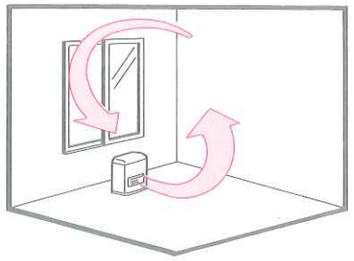


ファンヒーターと可燃物の間には、
図に示す以上の距離をお取りください。

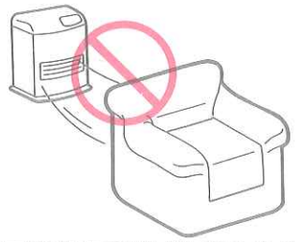
メモ

長時間同じ位置で使用し続けると、カーペットや床が変色したりそり返ることがあります。
定期的に位置をずらすことをおすすめします。

効果的に使用するために



外気に接している窓の下などに置く



温風の循環の妨げとなるものは
ファンヒーターの前に置かない

ご注意いただきたいこと

次の場所では使用しないでください

- ○カーテンなど可燃物のそば
- ○水平でなく、振動の激しい場所
- ○不安定なもののそば（棚の下など）
- ○風が当たる場所
- ○人通りの多い場所（部屋の出入口など）
- ○屋外
- ○人のいない場所
- ○可燃性ガスが発生する場所、たまる場所
- ○可燃性ガスが発生するものを使用する場所

↓

火災の原因となります

- ○換気が充分に行えない場所
- ○暖炉や押し入れなど狭い場所
- ○ほこりの多い場所
- ○標高1,000m以上の高地

↓

不完全燃焼の原因となります

- ○直射日光の当たる場所
- ○フロンガス、塩素系溶剤、ヘアトリートメント製品を使用する場所

（理・美容院、はんだ付作業所、メッキ・塗装工場、クリーニング店など）

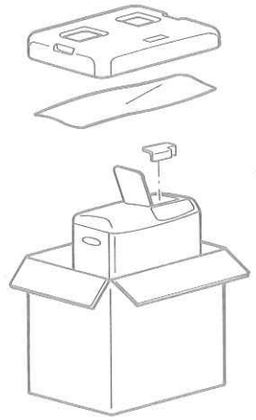
↓

故障や予想しない事故が発生する原因となります

使用前の準備

ファンヒーターの取り出し

1 梱包材等を取りのぞき、ファンヒーターを取り出す。



取扱説明書
アンケートはがき
チラシ

付属品

同梱のビニール袋に入っています。
袋から取り出し、本体背面の指定の位置にセットしてください。5

- ○スポイト
  本体内の灯油や水を抜くときに使用します。25

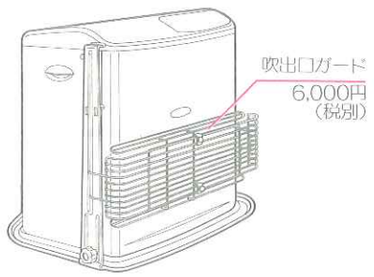
- ○給油キャップ
  手を汚さずに給油が行えます。11

お守りください

- ○取扱説明書と保証書は紛失しないよう大切に保管してください。
- ○梱包材は保管時に必要となりますので、捨てないでください。

吹出口ガード（別売）を用意しております。

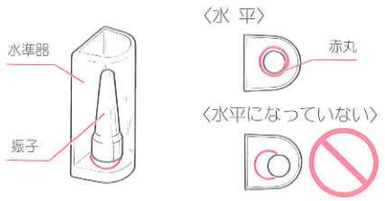
- ○お子様などが高温部の温風吹出口に触れないための吹出口ガードを用意しております。
  使用する場合は、ガードの説明書に従って、正しく取りつけてください。
- ○吹出口ガードのご購入はファンヒーターをお買い上げの販売店にお問い合わせください。



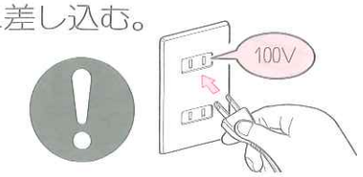
使用前の準備

運転開始前の準備と確認

1 本体が水平かどうか確認する。
水準器を上から見て、水平かどうか確認してください。
水平でないときは、水平な場所に移動してください。



2 電源プラグをコンセント(100V)に差し込む。



ご注意いただきたいこと

○200V電源には絶対に差し込まないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
○タコ足配線はしないでください。
火災の原因になります。

燃　料

燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

⚠危険

ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

灯油とガソリンの見分け方

指先につけて、息を吹きかけてください。
(火の気のないところで)

灯油の場合	ガソリンの場合
濡れたまま	すぐ乾く

お守りください

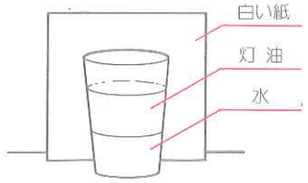
変質灯油、不純灯油、汚れた灯油、水の混じっている灯油などは、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

変質灯油とは

○昨シーズンよりもち越したもの。
○黄色味を帯びたり、すっぱいニオイのするもの。
○高温の場所で長期間保管したもの。
○日光の当たる場所で長期間保管したもの。

変質灯油の見分け方

水よりも少しでも色がついていたら変質灯油です。

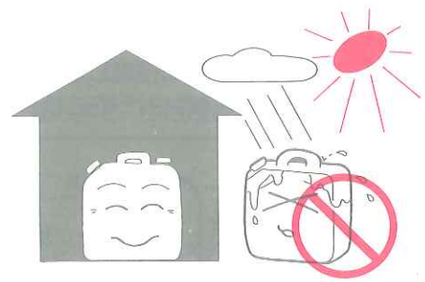


保管のしかた

○火気、雨水、ごみ、高温、直射日光を避けた場所に保管する。
○容器のフタをしっかり締める。
○容器は灯油専用のものを使用する。
○色のついた容器を使用する。
(白い容器は変質しやすくなります)

不純灯油とは

○灯油以外の油(ガソリン、シンナー、天ぷら油、機械油、重油、灯油添加剤など)がほんの少しでも混入したもの。
○水やごみがわずかでも混入したもの。



変質灯油や不純灯油を使用した場合の症状

○ニオイが強くなる。
○黄色い炎が混じる。 13
○火力が上がらない。
○消火しにくい。

処置方法

○灯油を抜き、きれいな灯油でカートリッジタンクや油受皿内を洗ってからご使用ください。
○着火・消火を10回程度くり返してください。
(ややニオイがしますので、換気をよくして行ってください。)
○それでも直らない場合は修理が必要となります。お買い上げの販売店にご相談ください。 29

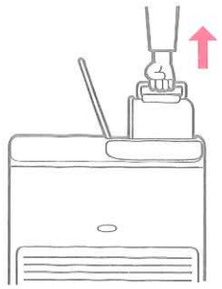
メモ

変質灯油、不純灯油が原因でサービスを依頼したときは、保証期間内でも有料となります。

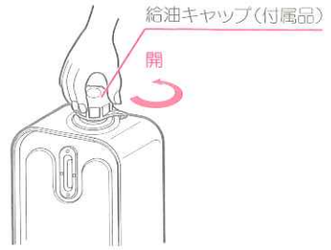
使用前の準備

給油のしかた

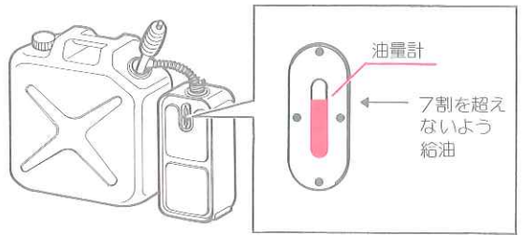
1 カートリッジタンクを取り出す。



2 タンク口金を外す。
付属品の給油キャップを使用すれば、手を汚さずに口金を外すことができます。



3 給油する。
灯油をこぼさないように注意しながら、油量計の7割を超えないよう給油します。



4 タンク口金を確実に締める。
給油キャップを外します。
こぼれた灯油は完全にふき取ってください。

5 カートリッジタンクをセットする。
バーグラフ油量モニターのバーが点灯します。

お守りください

カートリッジタンクは静かに入れてください。
落とすように強く入れると、バーグラフ油量モニターの精度が悪くなるおそれがあります。

メモ

電源プラグを抜いていたあとは表示が正確でないことがありますので、このときはタンクを持ち上げて静かに入れ直してください。正しい油量が表示されます。

ご注意いただきたいこと

- ○4ページ『安全のために必ずお守りください』の「3給油時」をよく読み、注意してください。
- ○給油時、タンク口金をぶつけないよう取り扱いに注意してください。タンク口金が変形すると油漏れのおそれがあります。

給油の合図

便利な機能

バーグラフ油量モニター
12段階のバーグラフで灯油の残量を表示します。
バーは1本ずつ消灯します。

1 灯油が残り少なくなってくると〝ピーピー〟と電子音が鳴ると共に給油サインが点滅し、同時に火力が小さくなります。

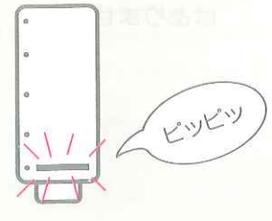
2 そのまま使用し続けると約45分後に灯油がなくなり、E03 を表示して自動的に消火します。

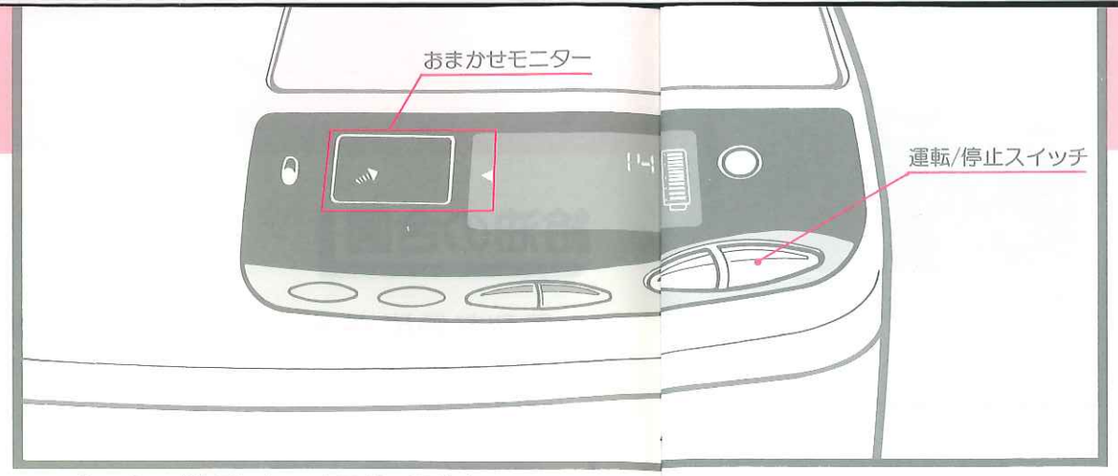
3 給油し運転/停止スイッチを押すと、運転を再開します。

メモ

バーグラフ油量モニターでも給油の合図を行います。
残り約1時間の燃焼が行えないときに次の操作を行うと、バーグラフが点滅すると同時に電子音が鳴って、灯油が残りすくないことをお知らせします。

- ○運転を開始するため運転/停止スイッチを押したとき
- ○運転中に3時間延長ボタンを押したとき
- ○タイマー運転をセットしたとき





このページでご使用になる表示部・操作部のなまえ

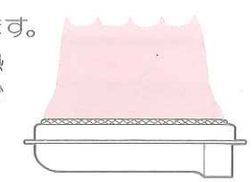
運転開始

1 運転/停止スイッチを押す。（運転ランプ点灯）
約35秒後に着火します。

運転の種類	表示部
快温おまかせ運転 15 16	おまかせモニターと室内温度表示が点灯
通常運転 17	おまかせモニターは点灯せず、設定温度表示と室内温度表示が点灯

2 炎の状態を確認する。
ときどき炎確認窓をのぞき、燃焼状態を確認してください。

● 正常燃焼
青い炎で燃焼します。
バーナの網が赤熱しますが、異常ではありません。



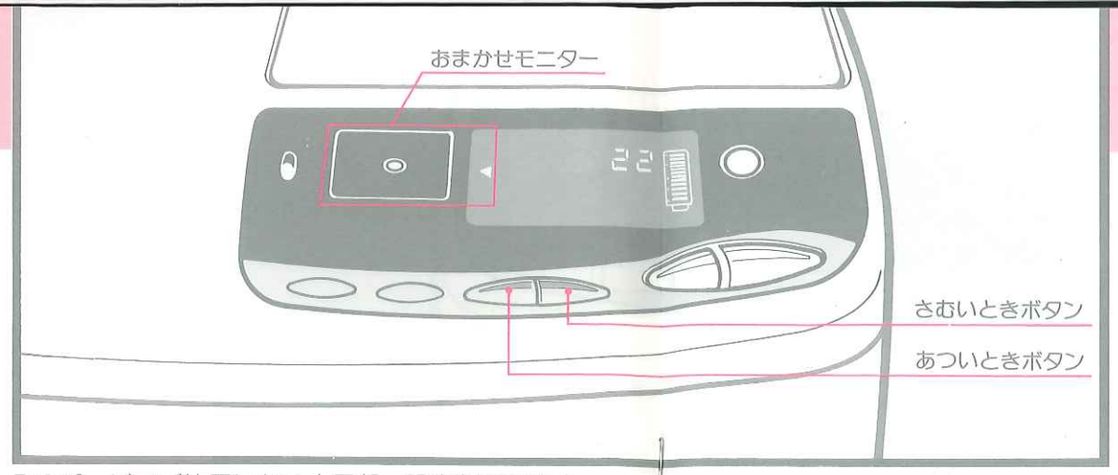
● 異常燃焼
青い炎の中に常に黄色い炎が現れます。
異常燃焼を起こしている場合は処置を行ってください。
28

運転停止

1 運転/停止スイッチを押す。（すべてのランプが消灯）
必ず火が消えたことを確認してください。

お守りください

○消火は必ず運転/停止スイッチで行ってください。
また、運転停止後2分間は電源プラグを抜かないでください。
電源プラグを抜いて消火したり、消火後すぐに電源プラグを抜くと、故障の原因となります。
（内部が過熱するのを防ぐため、ファンが回転しているためです）



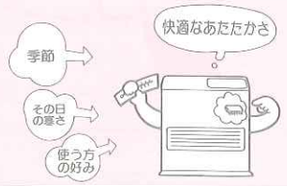
このページでご使用になる表示部・操作部のなまえ

室温の調節

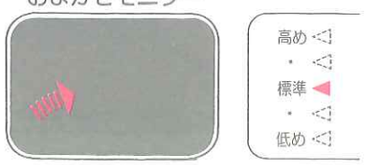
本ファンヒーターには快温おまかせ運転と通常運転(17ページ)の2通りがあります。
運転の種類によって室温の調節方法は異なります。

快温おまかせ運転

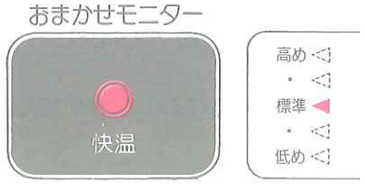
ファンヒーターが季節やその日の寒さ、使う方の好みに応じ、最も快適なあたたかさを自動的に選んで燃焼します。室温を設定する必要はありません。



1 快適温度になるまでの間、おまかせモニター内に))) が点灯。



2 快適温度になるとおまかせモニター内に ◉ 快温 が点灯。

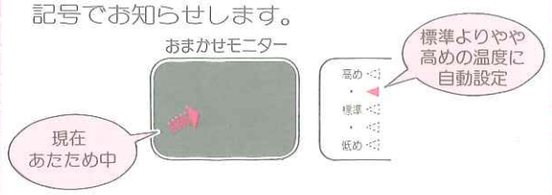


通常ではこの時点で快適であると感じていただけます。

便利な機能

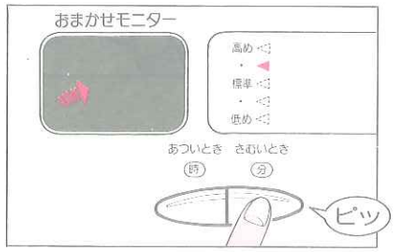
おまかせモニター

快温おまかせ運転時に点灯し、室温の状態を記号でお知らせします。



◉ 快温 が点灯しても快温と感じない場合は、快適温度の調節が行えます

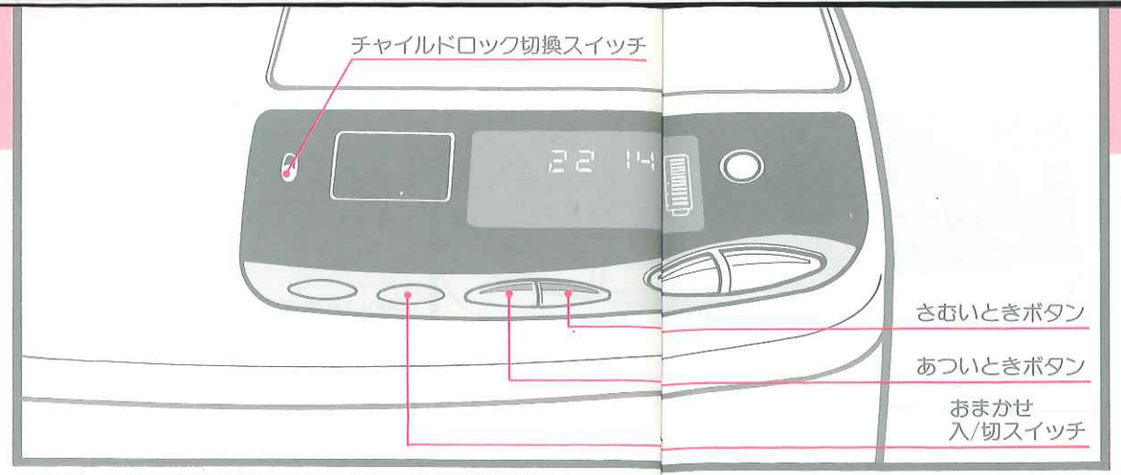
3 あついとき・さむいときボタンを押して ◀ の位置を調節する。



- 押した回数に合わせて、おまかせモニター内の ◀ の位置が変わります。
  (5段階の中からお好みの位置を選んでください)
- おまかせモニター内に))) または (((が点灯し、使う方の好みに合う快適温度になるよう自動的に火力を調節します。
- 再び快適温度に達すると ◉ 快温 が点灯してお知らせします。

メモ

3 で調節した温度は「使う方の好み」の室温としてファンヒーターが記憶し、次回の運転に活かされます。ただし、一度電源プラグを抜くとこの記憶が消えてしまいますので、再度調節してください。



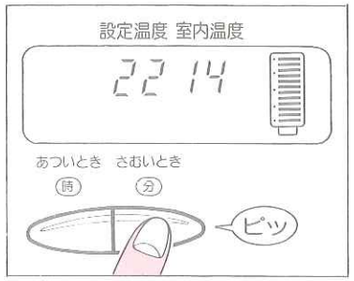
このページでご使用になる表示部・操作部のなまえ

通常運転

ご自分で室温を設定したいときや、常に最小火力、最大火力で燃焼させたいときに使用します。

1 あついとき・さむいときボタンを押す。

- 室内温度表示をめやすにお好みの設定温度に調節してください。
- 設定温度表示の温度になるよう、自動的に火力を調節して燃焼します。
- 設定温度は12～30度の範囲と、Lo（常に小火力）、Hi（常に大火力）に設定できます。



運転の種類の切り換え

1 おまかせ入/切スイッチを押す。

1回押すごとに快温おまかせ運転と通常運転に切り換わります。

メモ

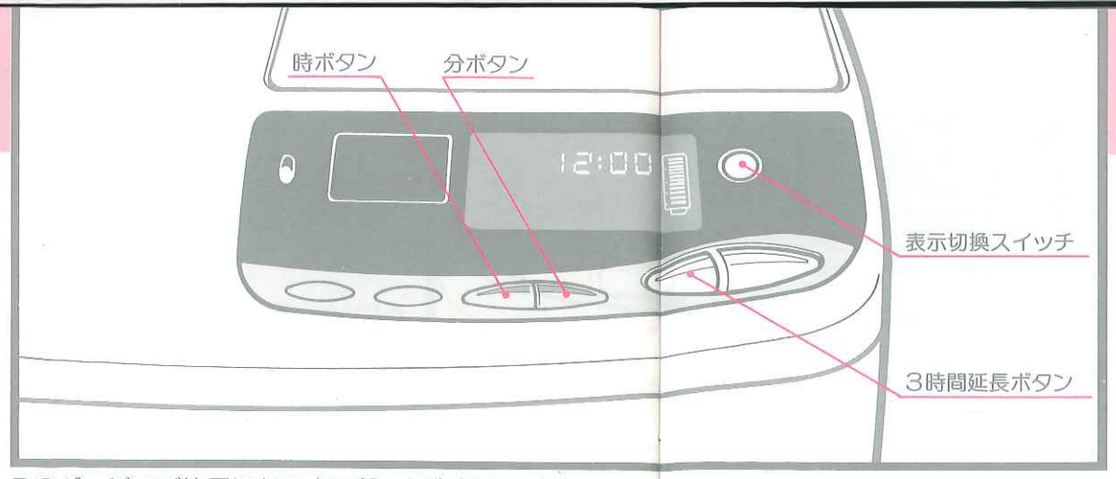
- 初めてご使用のときや、電源プラグを抜いた場合は、快温おまかせ運転になります。
- 一度運転を停止させた場合は、前回と同じ運転で燃焼を開始します。

チャイルドロックの使い方

お子様の誤操作を防止することができます。

1 チャイルドロック切換スイッチを「チャイルドロック」に合わせる。

- 運転中……運転停止と3時間延長のみ操作できます。
- 停止中……すべての機能が操作できなくなります。



このページでご使用になる表示部・操作部のなまえ

3時間延長ボタンの使い方（消し忘れ消火装置）

本ファンヒーターは消し忘れによる万一の事故を防ぐため、燃焼開始後3時間で自動的に消火します。

燃焼残り時間のお知らせ

3時間で自動的に消火する前に、3時間消火ランプと電子音でお知らせします。

2時間50分経過
ピッポッ
3時間延長
7回電子音が鳴る（点滅）

⇨

2時間55分経過
ピッポッ
3時間延長
再度7回電子音が鳴る（点滅）

⇨

3時間経過
3時間延長
自動的に消火（点灯）

消火させずに運転を継続したいとき

1 運転中に3時間延長ボタンを押す。

ボタンを押したときからさらに3時間、運転を行います。
ボタンは消火10分前に限らず、いつでも押せます。

ご注意いただきたいこと

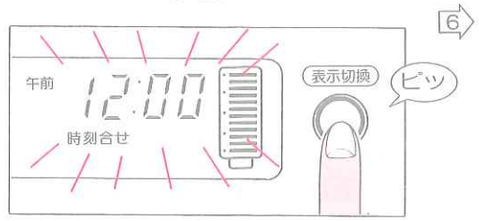
寝るときや外出するときは、消し忘れ消火装置には頼らず、必ず運転/停止スイッチで消火してください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

現在時刻の合わせ方

本ファンヒーターには時計機能がついています。時計として使うときやタイマー運転をするときは時刻を合わせてください。

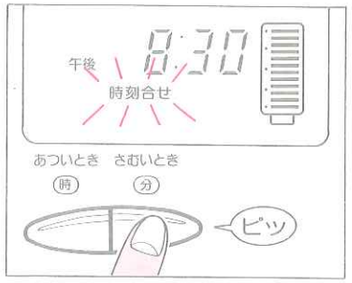
1 表示切換スイッチを押し、時刻合せ表示にする。

（時計表示 午前 12:00 、時刻合せ表示点滅）

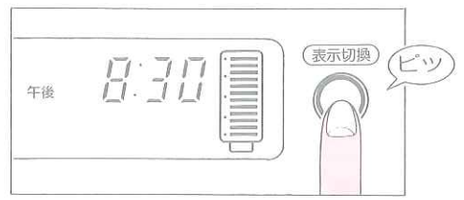


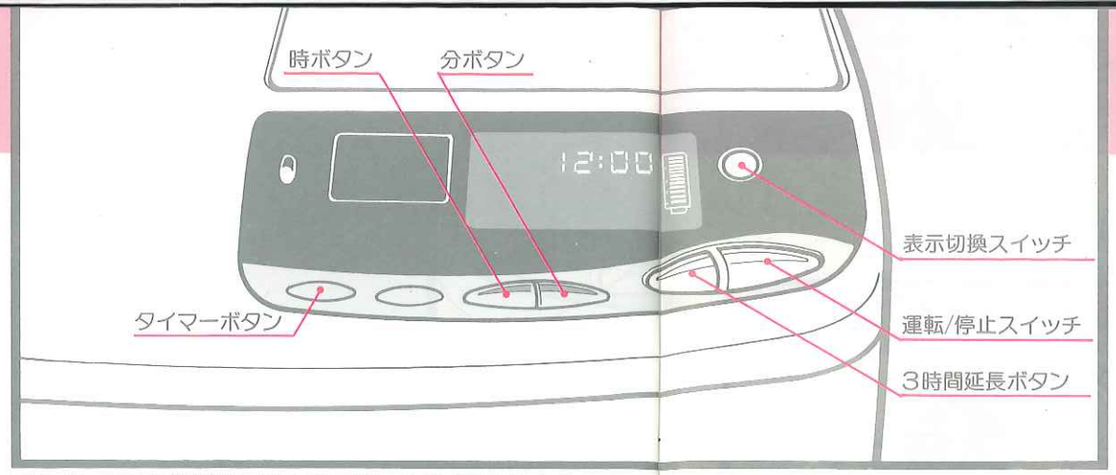
2 時・分ボタンを押し、現在時刻を合わせる。

時・分ボタンは、押し続けると早送りができます。



3 表示切換スイッチを押し、時計表示に戻す。





このページでご使用になる表示部・操作部のなまえ

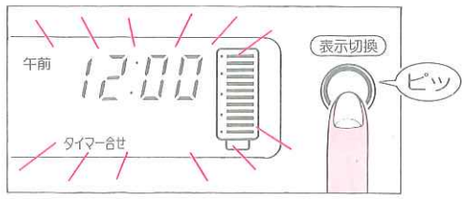
タイマー運転のしかた

1 現在時刻が合わせてあることを確認する。20

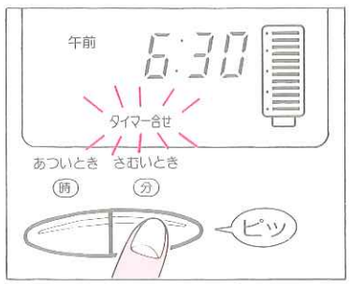
現在時刻を合わせないとタイマー運転はできません。

2 表示切換スイッチを押し、タイマー合せ表示にする。

（時計表示 午前 12:00 、タイマー合せ表示点滅）6



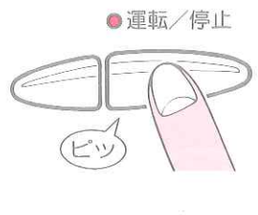
3 時・分ボタンを押し、タイマー運転時刻を合わせる。



4 表示切換スイッチを押し、時計表示に戻す。6

5 運転/停止スイッチを押し、運転状態にする。

運転中は押す必要はありません。



6 タイマーボタンを押す。

運転停止と同時にタイマーサインが点灯し、セットが完了します。

このとき約3秒間タイマー運転時刻を表示してお知らせしますので、確認ができます。

セットした時刻になると自動点火

安全のため、タイマー点火後1時間で自動消火します。

消火せずに運転を続けたいときは、タイマーボタンか3時間延長ボタンを押してください。

一度タイマー運転時刻を合わせれば、次回からは5、6を行うだけで同じ時刻に点火させることができます。

メモ

こんなときどうする？

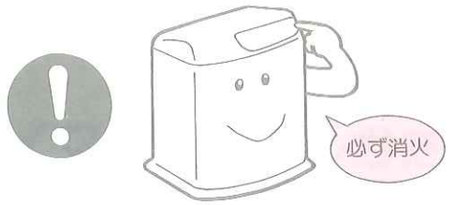
	タイマー待機中	タイマー燃焼中
タイマー運転の解除	運転/停止スイッチを押す。（タイマーサイン消灯）	
停電した	再度現在時刻を合わせ、タイマー運転のセットをやり直す。	停電安全装置が作動し消火。27
地震があった	もう一度5からやり直す。	対震自動消火装置が作動し消火。27

点検・手入れのしかた

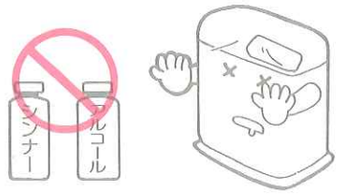
定期的に次の点検・手入れを行ってください。

ご注意いただきたいこと

点検・手入れを行うときは、次のことを必ず守ってください。



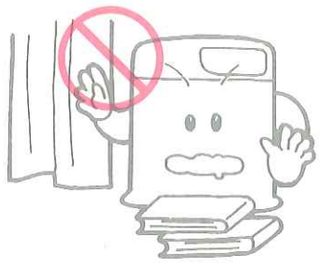
運転を停止する。
本体が冷えてから行ってください。
運転を停止しないと、火災ややけどのおそれがあります。



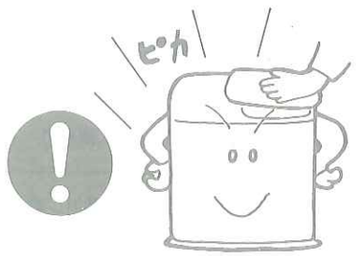
本体の汚れを拭き取るとき、シンナー・アルコール類は使用しない。
火災のおそれがあります。
特に汚れのひどい部分は、うすめた中性洗剤をしみ込ませた布で拭いてください。

ご使用のたびに

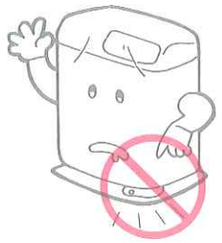
本体の周辺に可燃物はないか



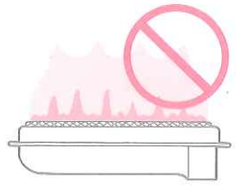
ごみやほこりを拭き取る



油漏れ、油たまり、油にじみはないか
異常がある場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

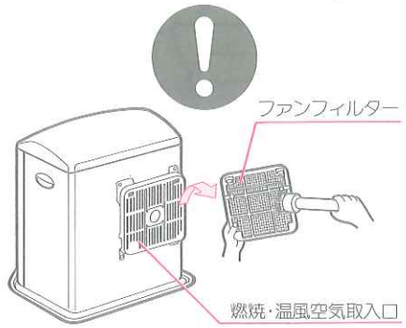


異常燃焼を起こしていないか 13
異常がある場合は28ページの処置方法に従って処置してください。

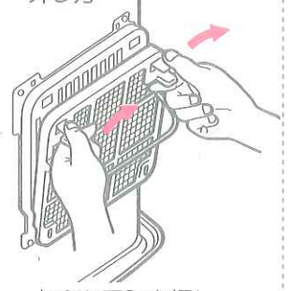


週に１回以上は

ファンフィルターのほこりを取る

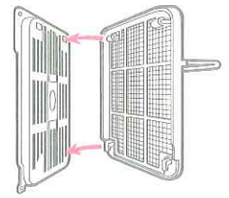


ファンフィルターの外し方



上のツマミを押し、手前に持ち上げる

ファンフィルターの取りつけ方

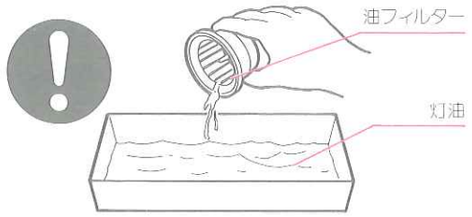


下のツメをはめてから上部を押す

１か月に１回以上は

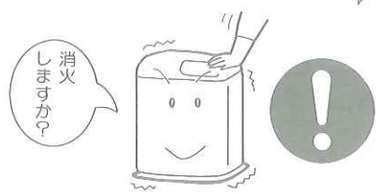
油フィルターがごみで目づまりしていないか

きれいな灯油ですすぎ洗いして、ごみ等を取りのぞいてください。



対震自動消火装置の点検

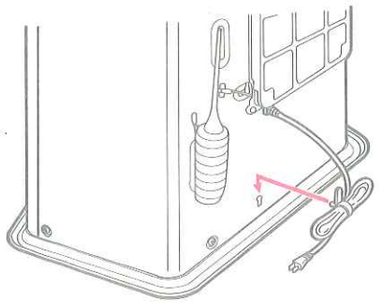
燃焼中にゆすると消火するか確認してください。
消火しない場合は修理が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。 29



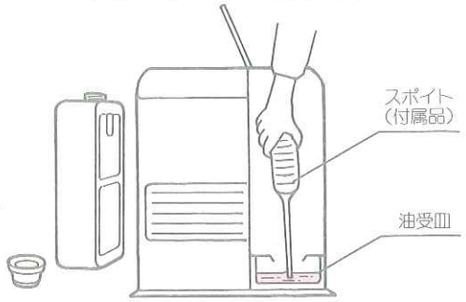
保管のしかた(長期間使用しない場合)

次の手順に従ってファンヒーターを保管してください。

1 電源コードを束ね、本体後ろに固定する。



2 カートリッジタンク内と油受皿内の灯油をすべて抜く。



3 ファンフィルターと油フィルターの掃除をする。24

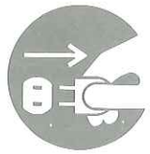
4 ファンヒーター本体の汚れを拭き取る。23

5 ファンヒーターを箱に梱包する。
梱包したファンヒーターは、湿気の少ない場所に保管してください。

ご注意いただきたいこと

○ファンヒーターを傾けたり、横倒しにしないでください。
油漏れなどにより、再使用時、火災のおそれがあります。

○長期間使用しないときは、必ず電源プラグを抜いてください。



お守りください

カートリッジタンク内と油受皿内の灯油は完全に抜き取ってください。
灯油が残っていると変質し、故障の原因となります。

異常のお知らせと処置方法

修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前に一度ご確認ください。

○点火時

症　状	原　因
すぐ着火しない	○予熱時間が約35秒必要です。 ○給油直後は灯油が送油経路に回るまで時間がかかります。 2、3回点火動作を繰り返してください。
「ジー」と音がする	点火するための放電音です。 異常ではありません。

○燃焼時・消火時

症　状	原　因
初めて使用するとき煙やニオイが出る	耐熱塗料が焼けるためです。 1時間ほどでおさまります。
炎の色がピンク、またはオレンジ色になる	超音波式の加湿器を使用すると起こります。水に含まれるカルシウム分による反応です。
炎の色がときどきチラチラと赤くなる	空気中のほこりが燃えるためです。
室温を高めに設定しても室温が上がらない	部屋が広すぎる場合に起こります。
室温を低めに設定しても室温が下がらない	狭い部屋や断熱のよい部屋でご使用のとき、あるいは気温が比較的高いときに起こります。
室内温度表示が部屋の寒暖計と一致しない	室内温度表示は、本体背面の空気の温度を表していますので、寒暖計とは必ずしも一致しません。
燃焼開始直後または消火直後に「ピシピシ」という音がする	金属が熱により膨張・収縮するためです。 異常ではありません。

異常のお知らせと処置方法

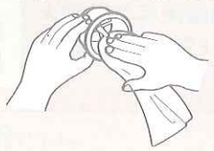
異常の原因と処置のしかた

何らかの異常で表のようなエラー表示や症状が現われたときは、適切な処置を取ってください。

表示部	原因（安全装置）	処置方法
E01	強い振動や衝撃を受けた （対震自動消火装置が作動）	○水平な場所かどうか確認する。 ○運転/停止スイッチを押し直す。
E02 E03	点火ミスしたり、油フィルターや油受皿内に水やごみがたまっている （燃焼制御装置が作動）	○運転/停止スイッチを押し直す。 ○付属のスポイトで油フィルターや油受皿内の水やごみを取りのぞく。油フィルターは水分をよく乾燥させる。 （下記 メモ 参照）
E07	室温が異常に高温（40℃以上）になった （室温異常高温防止装置が作動）	○発熱量に適した部屋なのか確認する。 30 ○室温が下がったのち、運転/停止スイッチを押し直す。
E09 フィルタ フィルタ	○燃焼・温風空気取入口や温風吹出口が物でふさがれた ○ファンフィルターにほこりがたまった （過熱防止装置が作動）	○原因を取りのぞき、本体内部が充分冷えてから運転/停止スイッチを押し直す。 ○ファンフィルターの掃除をする。 24
E13 換気	部屋の換気が不充分 （不完全燃焼防止装置が作動）	換気を充分に行う。
- - -	一時停電した、または電源プラグが抜けかかっている （停電安全装置が作動）	○電源プラグをコンセントに差し込む。 ○運転/停止スイッチを押し直す。

メモ

油フィルターのかわかし方



布などでよく水分を拭き取ったあと、日陰に置いて乾燥させる

症状	原因	処置方法
給油サインの点滅が止まらない	油フィルターや油受皿内に水やごみがたまっている	付属のスポイトで油フィルターや油受皿内の水やごみを取りのぞく。油フィルターは水分をよく乾燥させる。 27
	タンク口金が変形している	タンク口金を新しいものと交換する。
運転を開始しない	チャイルドロックがセットされている	チャイルドロック切換スイッチを「通常」に合わせる。 18
火力が上がらない	灯油が残り少なくなった	給油する。 11
	油フィルターや油受皿内に水やごみがたまっている	付属のスポイトで油フィルターや油受皿内の水やごみを取りのぞく。油フィルターは水分をよく乾燥させる。 27
	変質灯油・不純灯油を使用した	○油受皿やタンク内の灯油を抜き、きれいな灯油で洗う。 ○着火・消火を10回程度くり返す。 （やや二オイがしますので、換気をよくして行ってください。）
ニオイが強い	灯油がなくなった	給油する。 11
	灯油がこぼれたり、漏れている	使用を中止し、お買い上げの販売店に連絡する。 29
	変質灯油、不純灯油を使用した	油受皿やタンク内の灯油を抜き、きれいな灯油で洗う。
異常燃焼を起こす 13	変質灯油、不純灯油を使用した	○油受皿やタンク内の灯油を抜き、きれいな灯油で洗う。 ○着火・消火を10回程度くり返す。 （やや二オイがしますので、換気をよくして行ってください。）
	部屋の換気が不充分	換気を充分に行う。
	ファンフィルターにほこりがたまった	ファンフィルターの掃除をする。 24

⚠注意

故障、破損したら使用しないでください。
お客様個人で行う修理や改造は危険です。

ご注意いただきたいこと

処置を取っても直らないときや、上記以外のエラー表示が出たときは故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。 29
故障したまま使用し続けると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

アフターサービス

アフターサービスの依頼

点検・修理が必要になった場合は、お買い上げの販売店、または弊社営業所にご相談ください。

アフターサービスを受ける際は、次の事項をご連絡ください。

メーカー名
形式の呼び：30ページ 仕様 に記載
お買い上げ日：保証書に記載
症　　状：エラー表示等、できるだけ詳しく 27

ご注意いただきたいこと

修理等でファンヒーターを移動する場合は、必ず油受皿内の灯油を抜いてください。万一灯油がこぼれると火災の原因になります。

保証について

保証書

販売店で必要事項を記入してお渡ししますので、記入内容をお確かめの上、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は１年間です。修理の際は保証書をご提示ください。なお、保証期間中でも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間経過後は

販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理致します。

補修用性能部品について

○補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
○本ファンヒーターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後６年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

部品交換について

部品交換が必要な際は、お買い上げの販売店、または(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)または、技術講習会修了者(点検整備士)のいる販売店などにご依頼ください。

ご注意いただきたいこと

ファンヒーターの修理・部品交換は、お客様個人では絶対に行わないでください。けがややけどのおそれがあります。

定期点検のおすすめ

２シーズンに１回の定期点検をおすすめします。

愛情点検

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要になります。
点検を受けないと、予想しない事故が発生するおそれがあります。
未然に事故を防止するため、シーズン初めやシーズン終了時にお買い上げの販売店、または修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)〕で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)または技術講習会修了者(点検整備士)のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。(有料)

仕様

形式の呼び		FW-2501D(FA-2501D)
種類		気化式・強制通気形・強制対流形
点火方式		連続放電点火
使用燃料		灯油（JIS１号灯油）
燃料消費量	最大	0.303ℓ/h
	最小	0.072ℓ/h
発熱量	最大	10,470kJ/h(2,500kcal/h)
	最小	2,470kJ/h (590kcal/h)
暖房出力	最大	2.91kW(2,500kcal/h)
	最小	0.69kW (590kcal/h)
油タンク容量		5.0ℓ
燃焼継続時間	大火力	16.5時間
	小火力	69.4時間
標準適室	木造	8畳まで
	コンクリート	10畳まで
外形寸法 高さ×幅×奥行	置台込	435㎜×384㎜×311㎜
	本体	343㎜×265㎜
質量		約8.7kg
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz
定格消費電力	最大消費電力	310/310W(点火初期に短時間発生)
	燃焼時消費電力	119/119W(大火力時)
		69/ 69W(小火力時)
安全装置		不完全燃焼防止装置、停電安全装置、燃焼制御装置、対震自動消火装置、過熱防止装置
その他の装置		室温異常高温防止装置
付属品		スポイト、給油キャップ

上記の仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。